

## 11月26日は ソフィアンズクラブに集合！ 平成17年度講演会「英語教育改革を目指して」 今年度講師は 阿久津一浩さん(昭和57年卒)

植栽プランナーの国吉純さん(昭和60年卒)をお願いした昨年度の講演会も、とても和やかな雰囲気の中で行わせていただくことができました。またその後のルーメル先生の米寿をお祝いした懇親会も、時間の経つのを忘れるほどの盛会となりました。ご協力いただきました皆様には、改めて御礼を申し上げます。

さて、今年度の「講演会・総会・懇親会」は、**11月26日(土)**に開催させていただきます。会場は、ソフィアンズクラブです。

### 2時からの講演会

当日は、まず例年通りに同窓生による講演会を、午後2時より開催します。今年度の講師は、**阿久津一浩(あくつかずひろ)さん(昭和57年卒)**をお願いしました。

阿久津さんは、昭和53年4月に上智大学文学部教育学科に入学。教育哲学ゼミ(平野智美先生)で現代の教育問題等の研究に励まれたほか、体育会弓道部員として大活躍。弓道着のままよく授業に出られていたという逸話もあるそうです。

大学卒業後は昭和57年に大宮市立中学校の英語科教員に採用され、3校で18年のキャリアを詰まれました。担任年数は合計15年。バスケットボール部顧問としても情熱を注がれたとうかがっています。そして、平成12年に大宮市教育委員会指導課指導主事になりました。(翌年より、さいたま市教育国際交流課及び指導2課主任指導主事)担当されたお仕事は、「英語教育、ALT配置、国際交流事業等担当、教職員海外交流事業、国際理解教育、中高一貫教育、進路指導等」と多岐にわたります。昨年度からは注目の「国際化教育特区」を担当するため、新座市教育委員会指導主事になられ、ご活躍中です。

### 演題は「英語教育改革」

阿久津さんから、同窓生の皆さんへのメッセージです。

「長い間、選択教科として苦難の歴史を重ね、やっと平成14年度から必修教科となった英語科。日本人誰もが英語を話せるようになりたいと思いながら、中高6年間でも英会話はほとんど身に付かない現状を打破するため、自分が行ってきた実践や新座市国際化教育特区の取り組み内容などを紹介します。早期英語教育の是非や現在の様々な教育改革について、皆さんからも意見をうかがいたいと思っています。可能な限り、また差し支えない限りでお答えします。」

### 総会・懇親会

講演会は1時間を予定しており、その後17年度の総会、懇親会を開催いたします。いずれも、有意義な会となることを期待しています。当日の懇親会費は2000円です。現役学生は無料！大歓迎です。出席者は会報に同封しましたFAX用紙をご利用いただくか、あるいはメールでご連絡ください。**(終了予定時刻は5時半です)**

## 平成16年度講演会 楽しく、そして華やかに 国吉純さんの語る「園芸」の魅力

昨年11月23日、ソフィアンズクラブで、第2回となる同窓生による講演会を開催しました。講師は昭和60年卒の国吉(旧姓田中)純さん。植栽プランナーとして有限会社まで立ち上げのご活躍ぶりに同窓生たちからの強力な推薦があり、お忙しい中をお引き受けいただきました。

当日は国吉さんの希望もあり、演題はあえて設定せず、同窓生への語りかけと交流を大切にする形で進めました。司会を担当された同級生の渡邊智子さんも、国吉さんを「メインパーソン」として紹介されました。

国吉さんは一般企業で自分の技術力の無さを痛感し、3年後には退職されました。そして改めて人(子ども)と関わりのある仕事に就きたいと考え、上智の社会福祉専門学校に入学されたのだそうです。考えてみればこれこそが自身の本来の目標であったと述べられていました。

しかし、在学中に出産され、やむなく退学。しばらくは子育てに専念されました。その間に「園芸」との出会いがありました。それもただ楽しむだけではなく、虫のこと、病気のことを追究する姿勢を持っていたのが国吉さんでした。

そして、今度はそれを仕事にするための模索を始め、ガーデニング教室の受講、グリーンアドバイザーの資格の取得と確実に夢を現実のものとするべく、ひたすら勉強を続けられました。ちょうどガーデニングのブームが起こる少し前のことだったそうで、国吉さんは、マンションのベランダの専門家としてデビューされました。

2002年には横浜市都筑区に有限会社ジュリエッタ・ガーデンを設立。植物を楽しむための様々な企画を立てられ、積極的に発信しています。現在では「園芸療法」にも携われ、ご自身の原点であった福祉関連の仕事にも力を注がれています。

国吉さんが植物に対するときの姿勢は、「楽しく、簡単に、華やかに」だそうです。実際当日のソフィアンズクラブに飾られた国吉さんによる数多くの花束、アレンジメントにはそのセンスが溢れていました。

「高祖先生を前にとても緊張しています」との、国吉さんでしたが、そのお話に出席者は魅せられていました。そして、現在の仕事には、今まで自分が学んできたこと、経験してきたことが生きている、との言葉はとても印象的でした。

国吉さんのお話の後、同窓生からは「園芸」に関する様々な質問が寄せられ、国吉さんはわかりやすく説明を加えられました。また、懇親会後には国吉さんとの「じゃんけん」によるアレンジメントのプレゼンテーションが行われ、出席者全員が右手を挙げて挑戦しました。

## ルーマル先生の米寿をお祝い

11月23日の同窓会懇親会には、高祖理事長、湯川学科長をはじめ学科の先生方のご出席もい

**ただき、50名を超える同窓生が参加して、ルーメル先生の米寿をお祝いすることができました。記念品にご協力いただきました皆様にも厚く御礼申し上げます。**

国吉さんの講演会に続いて総会が開催され、16年度の事業報告、会計報告、及び17年度の事業計画が承認されました。

その後の懇親会は、「ルーメル先生の米寿をお祝いする会」として始まりました。司会は、昭和55年卒の林充さんと53年卒の手島（旧姓岡部）美智子さんが務められました。

会ではまず、大正5（1916）年9月28日にドイツのケルンでお生まれになった先生の略歴が紹介され、次に記念品と花束が、同窓会の初代会長の香川弘さん（昭和31年卒）と国吉さんから贈られました。

ルーメル先生の相変わらずユーモア溢れるスピーチに続いて、乾杯は前同窓会長の浅井丈三さん（昭和47年卒）にお願いしました。その後は様々な年代の同窓生から、先生との思い出が語られました。また、先生の米寿を記念して出版された『ルーメル神父 来日六十八年の回想』『モンテッソーリ教育の精神』（いずれも学苑社）も紹介されました。

懇親会ではこの他に、学科長の湯川先生に総合人間科学部のお話をいただき、理事長の高祖先生からも大学の近況をうかがうことができました。

## 卒業して四半世紀

### 76 クラス有志

今年は1980年卒のソフィアンが銀祝を向かえる年になりました。5月29日(日)午前、10号館講堂での金・銀・銅祝式典を終え、12時半から新しくこの4月に完成したばかりの2号館5階の学生食堂で全体の祝賀会が行われました。

私たちが現役の頃には図書館他として使用していた2号館は高層に一変し、新しいイグナチオ教会とともに四谷駅を出て最も目立つ建物となっていました。昔のまま私たちを迎えてくれた1号館とのコントラストに25年の時を感じました。

祝賀会では、教育学科も遠く北海道、九州からの方も含め15人程が集まりました。ほとんどが25年ぶりの再会となり、一目見て学生時代の顔も浮かぶのですが、年のせいか用意された卒業アルバムのコピーと見比べて名前を確認する場面も…。現役時代学長でいらっしゃったピタウ先生のお元気なご挨拶を聞き、さらに学生時代に逆戻りした感じがしました。(当日の様子と学科別の写真がソフィア会ホームページに載っています)

午後3時から四谷の中華料理店において教育学科のクラス会を行い、17人に加え高祖先生にもご参加頂き、盛会となりました。しかし、それぞれの25年を語るにはあまりにも時間が短く、あっという間に予定の2時間が過ぎ、続きは全員参加の二次会へと流れ、名残つきない夜となりました。

次は25年後の金祝か?? エーッ! という声があり、残念ながら当日都合がつかなかった方のためにもいずれ…。

## 加藤幸次先生 御退任 4月より名誉教授に

昭和62年より本学科でご指導をくださってきた加藤幸次先生が、平成16年度を持って退任された。その記念の研究会と懇親会が2月25日に開かれ、現役学生のほか多くの卒業生が出席をし、先生への感謝の意を表した。

学力低下論議に踊らされることなく「じっくり真の思考力を育め」と主張されてきた加藤先生の研究会での報告テーマは、「個性化教育の確立をめざして 国民形成からグローバル市民形成へ」であった。

なお、4月27日に本年度の名誉教授称号授与式が行われ、加藤先生に石沢良昭学長より授与記が渡された。

## Symposium on Human Dignity

### 7月23日に 上智大学総合人間科学部・同研究科開設記念シンポジウムを開催

去る7月23日(土)午後2時より、四谷キャンパス10号館講堂を会場にして、「上智大学総合人間科学部・同研究科開設記念シンポジウム」が開催された。(当日は教育学研究室よりご案内をいただいた同窓会役員・サポートスタッフの他、学科卒業生の姿も見られた)

第1部の基調講演では緒方貞子氏(JICA=国際協力機構理事長)が「人間の尊厳を実現する社会を目指して」と題して、お話をされた。緒方氏は新たに開設された総合人間科学部への期待を、ご自身の国際社会での経験を踏まえて伝えられた。また、フロアにいた現役学生からの質問を特に期待され、その一つ一つに丁寧にお答えになる姿がとても印象的であった。

第2部は「人間の尊厳 その教育研究上の課題と展望」をテーマに、シンポジウムが行われた。司会は初代学部長に就任された岡本英雄教授(社会学科)が務められ、パネリストとして、総合人間科学部の四学科(教育・心理・社会・社会福祉)から、それぞれ教授がお一人ずつ登壇された。(教育学科からは渡辺文夫教授)

シンポジウムではそれぞれのパネリストが、学科あるいは個人の研究領域において、いかに Human Dignity を重視する精神を育み、Human Dignity の実現のために貢献できる人材を育成するかについての理念の説明がなされた。ただ、総合人間科学部として四学科の連携を含め、具体的な方向を窺うことはできず、改めてシンポジウムの難しさを感じられた。

(閉会間近の午後4時35分に東京は震度5の地震に襲われ、さすがの10号館も揺れました。)

文責 = 昭和57年卒・栗原

## 教育学科情報ボックス

渡邊智子さん(旧姓山崎・昭和六〇年卒)の取材によりお届けします。渡邊さんは、新2号館レポートと学科に新たに着任された奈須正裕先生へのインタビューのため、四谷へ足を運んでくださいました。

### 新しいシンボル2号館

2005年3月15日、四谷キャンパスで新2号館が落成した。最上階の17階には国際会議の開催などにも使用できる大会議室、6階から16階には、教育学科が所属する総合人間科学部等の研究室や学部事務室が設けられた。2階には法科大学院、三階・B2階には総合メディア・IT等の関連施設が集中。最新鋭の設備を誇るコンピューターームは学生が自由に利用することができる。

さらに2号館は快適なコミュニティの場としても充実している。1階には学事、学生生活・就職関連の施設が集まり、B1階には書籍や日用品、スポーツ用品のショップや理髪店が並ぶ。5階には学食「Marche(マルシェ)」と教職員食堂があり、そこから続く6階には屋上庭園が設けられ、美しい緑に囲まれた憩いの場となっている。学食の窓からは迎賓館をはじめ、周辺の景色を楽しむこともできる。四谷を訪れた際にはぜひ立ち寄ってみてほしい。

### 卒業生の進路紹介

職業指導部によれば2004年度の大学生への求人は増加し、上智への求人件数も極端に増加した。以下、今年の3月7日までに同部に届けられた「進路決定届」にもとづく教育学科卒業生の進路先を紹介する。(「上智大学通信」第307号より)

日本経済新聞社・リクルートHRマーケティング・資生堂・アストラゼネカ・本田技研工業・全日本空輸・東海旅客鉄道・東日本電信電話・東京スタイル・ニッセン・セブンイレブンジャパン・東京三菱銀行・多摩中央信用金庫・東京海上日動火災保険・日本興亜損害保険・上智学院・東京都教員・サビエンス研究所・東京アカデミー・マッキャンエリクソン・アンダーソン毛利友常法律事務所・NTTデータソフィア・リクルート・NECトータルインテグレーションサービス・パソナ・エスエムエス・航空自衛隊・東京都公務員・進学(4名)なお、卒業生総数は59名であった。

### 学科新スタッフ紹介

#### 奈須 正裕 先生

神奈川大学、国立教育研究所、立教大学での勤務を経て、今年度4月より上智の教育学科教授に着任されました。

1年生の「学校教育学」と3、4年生の「学校教育学演習」をご担当。ゼミでは学生が実際に小学校を訪れ、授業分析を通して、学校教育の理論と実践の両方を学んでいます。「学校という場所が子どもにとってどういう場所なのかを、自分たちが当たり前だと思ってきたことを疑うことから考えていきます」

奈須先生のご専門は教育心理学で、なかでも学習意欲の問題をテーマにされています。現場の先生とチームを組んで「授業をつくる」ことを中心に活動されてきました。「もともと小学校の先生になって子どもたちと郵便屋さんごっこをやりたいかったです(笑)」と気さくに話してくださる先生は小・中学校の教員免許もお持ちで、大学時代のテーマは小学校の生活科だったそうです。

### **終身会費納入のお願い**

本会の運営資金として終身会費の納入をお願いしております。ご協力くださいました皆様に厚く御礼申し上げます。未納の方は1万円を下記口座までお願いします。

**郵便振替 0019 6 70311**

**三井住友銀行四谷駅前支店普通 6755107「上智大学教育学科同窓会」宛**

### **教育学科同窓会の個人情報保護に関する考え方**

上智大学教育学科同窓会は、同窓会会員の個人情報(氏名、住所、卒業年度など、個人を特定できる情報)の適切な保護及び利用が非常に重要であると考えております。

今後も個人情報の収集と利用は、同窓会会則に定められた目的達成に必要な範囲内で行います。

現在個人情報保護についての基本方針を策定しております。ご質問、ご要望等はメールでお寄せください。

### **編集後記**

第11号をお届けします。

「ソフィアーズ ナウ」等でご承知かと思いますが、残念なことにソフィアーズクラブが年内で閉鎖になります。その意味でも、ぜひ11月26日は四谷にお出てください(栗)